

平成27年度事業報告書及び事業報告の附属明細書について

I 概要

財団創立30周年を迎え、みどりの保全と創造に向けた県民、企業、団体及び行政との協働を一層推進し、会員と緑の募金の拡大に努めた。また、一昨年、園路等の整備が完了した小網代の森の利用促進を図るため関係機関や保全活動を実践している団体との連携の強化と県民の森林づくりへの機運の高まりを受けた県民参加の森林づくり事業の強化を基本方針として各事業については次のとおり取り組んだ。

- 普及啓発事業では、WEBサイトや機関誌「ミドリ」による情報発信のほか、昨年度オープンした小網代の森でのアカテガニ放仔観察会や自然観察会の実施を通じ、積極的にかながわのナショナル・トラスト運動の普及啓発を行うとともにみどりのトラスト会員の募集に取り組んだ。

また、財団創立30周年を迎え、記念事業として当財団の活動に大きく貢献している団体への感謝状の贈呈や記念講演会等を実施した。

- 地域緑化活動事業では、地区推進協議会主催による各事業や市町村等主催のイベントへの参加等でかながわのナショナル・トラスト運動の普及啓発を行うとともに、みどりの実践団体の育成、樹木配布による地域の緑化推進に努めた。
- 緑地保全事業では、所有者との緑地保存契約の締結、県内各市町村が行う緑地等指定事業への助成及び保存契約緑地における剪定、草刈り等の緑地管理を実施した。
- 県民参加の森林づくり事業では、森林ボランティア活動の推進、森林インストラクターの養成、成長の森の造成、新たな活動フィールドの準備等により、県民の森林づくりへの参加促進に努めた。
- 緑の募金事業では、教育機関、市町村等と連携して緑の募金を推進するとともに、学校や地域の緑化活動の支援、緑化運動・育樹運動ポスター原画・標語コンクールの実施及び緑の少年団の活動を支援した。

また、多額の寄付を原資に継続的な事業を実施するための基金を創設した。

II 事業の実施状況

1 普及啓発事業

(1) 広報普及活動

みどりを守り育てる運動を県民や企業等に周知し、会員登録、基金への募金、運動への参加を促進するために市民祭り等での街頭キャンペーン、ホームページや地域情報誌等による広報、自然観察会等を行った。

ア 財団創立30周年記念事業

開催日 平成27年12月19日(土)

場 所 横浜市港南公会堂

参加者 485名

内 容 感謝状の贈呈、小網代の森活動報告、養老孟司氏の記念講演

イ イベントでの普及啓発活動

(ア) 京急エコウィーク

開催日 平成27年8月8日(土)、9日(日)

場 所 京急百貨店

(イ) 藤沢市民まつり

開催日 平成27年9月26日(土)、27日(日)

場 所 藤沢駅コンコース

(ウ) フラワーフェスティバルおおふな

開催日 平成27年10月31日(土)、11月1日(日)

場 所 フラワーセンター大船植物園

(エ) SATOYAMA&SATOUMIへ行こう!2016

開催日 平成28年3月19日(土)、20日(日)

場 所 パシフィコ横浜

ウ 機関誌ミドリの発行

機関誌ミドリを4回発行し、会員や県、市町村、県立公園、博物館等に配布して県民のみどりに対する理解増進を図った。

号	発行	発行部数	主な内容
97(夏)	27年 6月	10,000部	英国ザ・ナショナル・トラストのインタビュー記事、財団創立30周年の理事長挨拶、かながわの絶滅危惧種など
98(秋)	27年10月	9,000部	県内各地のトラスト緑地の活動報告、桜ヶ丘緑地に残るビール工場遺構など
99(冬)	27年12月	9,500部	森林インストラクターのインタビュー記事、緑の募金活動、やどりき水源林・大涌谷や小網代の森の報告など
100(春)	28年 3月	9,500部	「ミドリ」100号記念、財団創立30周年講演、宇宙から見た神奈川など

エ かながわのナショナル・トラスト運動のPR

トラスト運動リーフレットや啓発用物品を作成し、県民利用施設、ボランティアグループ及びイベント等で配布した。

- ・入会申込書付きリーフレット 60,000部
- ・小網代の森案内リーフレット 60,000部
- ・かながわトラストみどり基金リーフレット 11,000部
- ・新聞折込チラシ 300,000部

オ インターネットによる情報発信

緑地保全、ボランティア育成など財団事業をWEBサイトでわかりやすく紹介し、財団の活動への参加を呼びかけた。

カ 自然観察会等の開催

(ア) 古都鎌倉 緑と歴史の自然探訪((公財)鎌倉風致保存会との共催)

開催日 平成27年4月18日(土)ほか1回

場 所 大塔宮から百八やぐらほか

参加者 84名

内 容 中世都市鎌倉の国史跡の歴史と自然の学習

(イ) みどりのがっこう(生活協同組合ユークラブとの共催)

開催日 平成27年6月27日(土)ほか2回

場 所 泉の森ほか

参加者 103名

内 容 財団創立30周年記念ミニ講座、動植物の自然観察

(ウ) 森林探訪 (NPO法人かながわ森林インストラクターの会との共催)

開催日 平成27年5月16日(土) ほか1回
場 所 弘法山ほか
参加者 107名
内 容 植物、樹木の観察

(エ) 自然観察会

開催日 平成27年5月21日(木) ほか6回
場 所 横浜山手公園ほか
参加者 195名
内 容 バラ、アオバト、野鳥などの観察

(オ) 財団創立30周年記念ハイキング

開催日 平成27年12月5日(土)
場 所 六国見山、御谷の森
参加者 48名
内 容 六国見山、御谷などを巡る約6kmのハイキング

(カ) かながわの自然と食を味わう会

開催日 平成27年6月23日(火) ほか1回
場 所 小田原曾我の里ほか
参加者 42名
内 容 梅ひろい体験と梅ジャム作り、ミカン狩り

キ 小網代の森アカテガニ放仔観察会の開催等

(ア) 夕方観察会

開催日 平成27年6月7日(日)
場 所 中央の谷
参加者 62名
内 容 緑地内での自然観察

(イ) アカテガニ放仔観察会

開催日 平成27年7月18日(土) ほか5回
場 所 中央の谷、アカテガニ広場
参加者 367名
内 容 緑地内での自然観察、アカテガニの観察

ク 関係団体と自然観察会等の共催及び普及啓発に係る事業の委託

(ア) 関係団体との共催

(公財)鎌倉風致保存会、生活協同組合ユーコープ、NPO法人かながわ森林インストラクターの会と自然観察会等を共催した。

(イ) 委託事業の実施

NPO法人小網代野外活動調整会議、小網代の森「ひげ爺の栖」に当財団の普及啓発及び会員募集を委託した。

ケ 顧客管理システムの再構築・導入

会員、寄付者及びイベント参加者等の情報を顧客管理システムに統合し、情報管理の効率化やセキュリティの向上に努め、公益目的事業やトラスト会員の拡大の基盤整備に取り組んだ。

コ 大学生の自然環境保全活動への支援

みどりを守り育てる活動を行う大学のサークル等を支援するため、活動費を助成した。

交付先：東京農業大学「ボランティア部」 助成額：100,000円

和光大学「かわ道楽」 助成額：100,000円

サ かながわトラストみどり財団サポーター制度の活用
財団の事業運営を支援するサポーターを追加登録し、自然観察会及び郵送事務に活用した。

登録人数 66名

活用回数 トラスト会員更新依頼発送業務（5月11日実施）ほか14回

シ 会員数 []は内、トラスト緑地保全支援会員数

会員種別		平成26年度末	平成27年度末
普通 会 員	個人会員	3,809名 〔462名〕	3,930名 〔534名〕
	家族会員	6,946名 〔595名〕	7,085名 〔731名〕
	団体会員	250名 〔17名〕	262名 〔25名〕
特別会員		318名	317名
名誉会員		5名	5名
会員数		11,328名 〔1,074名〕	11,599名 〔1,290名〕
(内、過去1年間に会費 の納入があった会員数)		(10,411名) (91.9%)	(10,016名) (86.4%)

※ 会員規則第8条第1項第2号により「会費を引き続き2年以上納入しないとき。」は会員資格の喪失が規定されております。平成26年度からは、同条に該当する会員数で整理し報告している。

(2) 緑化協力金制度の運営

49箇所（うち2箇所停止中）の協力駐車場のうち当財団では大磯港や県民ホールなど36箇所の駐車場の緑化協力金を集結し、県のトラスト基金への積み立てを行った。

なお、由比が浜地下駐車場の駐車場機器の緑化協力金対応費用及び片瀬海岸地下駐車場の緑化協力金の周知看板の作成費用を負担した。また、緑化協力金制度への理解を得るため啓発資料を作成して配布した。

2 地域緑化活動事業

地域緑化を推進するため、みどりの実践団体を発掘するとともに、みどりの実践団体が行う緑化活動を支援するため苗木の配布及び研修会等を開催した。また、市町村、関係団体等の協力を得て、各地区推進協議会の地域特性を活かした事業を実施した。

(1) みどりの実践団体の育成

地域におけるみどりの愛護と創造を实践する団体に対し奨励金を交付した。

初年度奨励金11団体、2年度奨励金16団体

また、三浦半島地区、県央地区、湘南地区、県西地区の4地区推進協議会を2組に分け、合同での研修・交流会を開催し、地域を超えた交流を推進するとともに育成を支援した。

ア 三浦半島地区推進協議会及び県央地区推進協議会

研修・交流会

開催日 平成27年11月17日（火）

場 所 大和市泉の森緑地

参加者 48名

イ 湘南地区推進協議会及び県西地区推進協議会
研修・交流会

開催日 平成27年11月19日(木)

場 所 大和市泉の森緑地

参加者 35名

(2) 樹木の配布

みどりの実践団体に樹木を配布することで、地域の緑化を推進した。

ア 横浜地区みどりの実践団体 16団体

ネズミモチほか12種 1,086本

イ 川崎地区みどりの実践団体 9団体

イロハモミジほか7種 258本

ウ 三浦半島地区みどりの実践団体 10団体

オオムラサキツツジほか9種 227本

エ 県央地区みどりの実践団体 8団体

ドウダンツツジほか8種 193本

オ 湘南地区みどりの実践団体 8団体

クチナシほか11種 520本

カ 県西地区みどりの実践団体 10団体

ヤマザクラほか8種 515本

(3) 地域活動の育成

県民参加による緑化推進、かながわナショナル・トラスと運動の普及啓発、会員の拡大等を推進するため各地区において次のとおり事業を実施した。

ア 三浦半島地区推進協議会

「かまくらと三浦半島の古木・名木50選」の再調査の実施

(ア) 企画広報部会

開催日 平成27年4月22日(水)ほか2回

場 所 逗子文化プラザ市民交流センター

(イ) 自然観察会「小網代の森・アカテガニ放仔等観察会」(財団本部共催)

開催日 平成27年7月19日(日)

場 所 三浦市小網代の森

参加者 41名

イ 県央地区推進協議会

緑の書道コンクール

対 象 県央地区小・中学校(参加88校)

応募数 8,722点(入選 187点)

審査会 平成27年10月14日(水)

表彰式 平成27年11月29日(日)

展示会 あつぎロードギャラリーほか6箇所

(平成27年12月16日~28年3月1日、各会場1週間程度)

ウ 湘南地区推進協議会

湘南グリーンコネクション2015

開催日 平成27年9月29日(火)

会 場 寒川町民センター

参加者 50名

エ 県西地区推進協議会

(ア) ウォーキング

開催日 平成28年1月23日(土)

場 所 大井町ブルックスほか

参加者 29名

(イ) 園芸講習会

開催日 平成27年12月22日(火)

場 所 小田原市民会館

参加者 31名

オ 地区会報の発行

かながわのナショナル・トラスト運動の紹介、会員募集及び各地区推進協議会の活動等を掲載した「かながわグリーンサポーターズ」を発行し、地域の緑化運動を推進した。

発行時期：平成28年3月下旬

発行部数：2,500部

(4) 相模原地域緑化事業

相模原地域については、当財団と同様の活動を行っている(公財)相模原市まち・みどり公社にみどりの実践団体の育成、小中学生を対象とした書道コンクールの開催や地域の緑化推進等の業務を委託した。

ア 緑の書道コンクール

対 象 相模原市内小・中学校(71校)

応募数 3,922点(入選 70点)

審査会 平成27年10月15日(木)

表彰式 平成27年11月29日(日)

展示会 相模原市役所ほか

(平成27年11月28日(土)～平成28年1月29日(金))

イ みどりの実践団体育成

(ア) 奨励金

初年度 2団体、2年度 1団体

(イ) 研修会・交流会

刈払機扱い作業安全衛生教育の実施

ウ 樹木の配布

相模原地区のみどりの実践団体 8団体

サツキほか17種 955本

3 緑地保全事業

緑地所有者と緑地保存契約を締結して、緑地の適正な維持管理に努めるとともに市町村の緑地等指定事業への助成を行った。

(1) 緑地保存契約

6箇所の緑地について、緑地所有者と保存契約を締結した。

緑地名	緑地総面積 (㎡)	保存契約 対象面積 (A) (㎡)	保存契約 面積 (B) (㎡)	契約率 (B/A) (%)	契約 期間 (年)	年間賃借料 (円)
葛葉緑地 (秦野市)	153,123.95	78,360.84	57,763.84	73.7	10	2,926,619
久田緑地 (大和市)	100,036.00	82,043.00	70,500.00	85.9	10	5,076,720
泉の森緑地 (大和市)	80,052.31	40,516.46	27,597.38	68.1	10	3,513,754
川名緑地 (藤沢市)	78,943.00	21,745.00	2,303.00	10.6	10	42,894
大崎緑地 (逗子市)	70,936.70	54,177.70	17,544.70	32.4	10	1,438,665
小網代の森 緑地 (三浦 市)	574,500.00	104,007.00	104,007.00	100	10	33,531
6 緑地 計	1,057,591.96	380,850.00	279,715.92	73.4	—	13,032,183

(2) 保存契約緑地等の維持管理

葛葉緑地（秦野市）、久田緑地（大和市）及び小網代の森緑地（三浦市）の自然環境の保全のため、樹木の剪定や伐採など適正な管理に努めた。

(3) 市町村の緑地等指定事業への助成

市が緑地所有者との契約により緑地保全を図る事業に助成した。

市町村	緑地等指定面積	実績額	助成金交付額	助成率
横浜市他13市	1,461,084.6㎡	87,128,339円	18,000,000円	20.66%

(4) 緑地保全コーディネート

ア 保全活動の調整

小網代の森緑地について、かながわトラストみどり財団、県、有識者、保全活動団体等で構成する小網代の森保全利活用対策協議会を開催して小網代の森の利用、保全対策、管理活動等について協議した。

開催日 平成27年11月5日（木）ほか1回

会場 かながわ県民センター

イ 自主的な保全活動への助成

三つのモデル緑地において、自主的に保全活動にあたる3団体に対してトラスト緑地保全支援事業として活動費の一部を助成した。

- ・小網代の森緑地（NPO法人小網代野外活動調整会議）

水棲生物の調査など自然回復のモニタリングを継続して実施し、大規模な湿地環境再生事業や外来植物除去作業を行った。また、アカテガニ放仔観察会など環境学習活動に取り組んだ。

- ・久田緑地（久田緑地くらぶ）

竹林の定期的な伐採や落ち葉かきなど里山の維持管理活動やボランティアの研修活動に取り組んだ。

- ・桜ヶ丘緑地（桜ヶ丘・水辺のある森再生プロジェクト）

水辺の環境の維持管理作業を地元小学校と連携するなど、地域連携による環境保全活動に取り組んだ。

ウ 保全緑地等選定委員会の開催

かながわのナショナル・トラスト運動によって保全すべき緑地等の調査審議及び保全の提案を行う選定委員会（学識経験者等5名で構成）を開催した。

開催日 平成28年1月26日（火）

会 場 かながわ県民センター

4 県民参加の森林づくり事業

(1) ボランティア活動の推進

県民参加による豊かな森林づくりを推進するため、多様な森林づくりボランティア活動の機会の提供、初心者の方の森林づくり体験や小・中・高校生の森林体験学習等の支援を行った。

ア 活動実績

区 分	活 動 内 容	回数	面積(ha)	延人員(人)
県民参加の森林づくり	・森林に関する講話 ・植栽、下刈り、枝打、間伐、竹林整備	17	34.42	1,434
小・中・高校生等の森林学習等支援	・森林学習、自然観察、森林作業	40	—	3,851
計		57	34.42	5,285

イ ボランティア交流会

ボランティア活動の促進を目的に、県内各地の団体と森林づくりボランティア参加者との交流会を開催した。

開催日 平成27年7月11日（土）ほか1回

開催場所 県立宮ヶ瀬やまなみセンターほか

参加者 135名

(2) 神奈川県森林インストラクターの養成及び派遣

県民の森林への理解を深めるための普及啓発やボランティア活動等を円滑に推進するため、神奈川県森林インストラクターの育成及び活動の支援を行った。

ア 神奈川県森林インストラクターの派遣

県内の各種団体等が実施する森林づくり活動や自然観察会などに神奈川県森林インストラクターを派遣した。

派遣回数 83回 参加人数計 4,759名

イ 神奈川県森林インストラクター派遣調整事務の委託

財団主催のボランティア活動推進事業と神奈川県森林インストラクター派遣事業に係るインストラクターの人選、調整、派遣等を的確かつ迅速に対応するためにNPO法人かながわ森林インストラクターの会に連絡調整等の事務を委託した。

調整回数 140回 派遣人数計 890名

ウ 神奈川県森林インストラクターブラッシュアップ研修

神奈川県森林インストラクターを対象に指導者としての資質の向上を図るため、救命救急手法、森林作業方法と安全管理等に関する研修を実施した。

講座回数 3回 受講者数計 120名

エ 神奈川県森林インストラクターの養成

子ども達の森林体験学習や県民の森林づくり活動の多様化に対応し、指導体制の充実を図るため、第14期神奈川県森林インストラクター養成講座（第2年次）を開講した。

講座日数 10日 受講者 32名

(3) 森林づくり普及啓発事業

森林の大切さ等を理解してもらうとともに、森林づくりへの参加を促進するため、森林・林業に関する普及啓発活動を行った。

ア 街頭キャンペーン・水源林の集い等の実施

都市部の県民に対して、水源林の役割等の理解を深めてもらうための街頭キャンペーンを開催するほか、県、森林関係団体及びかながわトラストみどり財団等で構成する、県民との協働による森林づくり実行委員会の事務局を担当し、水源林の集い、新定着型ボランティア事業などを実施した。

(ア) 街頭キャンペーン

場 所 横浜みなとみらい21地区 臨港パーク（第34回横浜開港祭会場）他2か所

日 時 平成27年5月～11月

参加者 延べ2,042名

内 容 水源林紙芝居、クイズ、水源かん養の実験、丸太切り体験コーナー、木工教室、リーフレットの配布、募金活動、森林整備等のPR

(イ) 水源林の集い

場 所 やどりき水源林（松田町寄）

期 日 平成27年8月15日（土）

参加者 464人（県民、水源林パートナー等）

内 容 水源林トレッキングや水生生物の観察等、参加者の交流

(ウ) 新定着型ボランティア

場 所 やどりき水源林、魚止めの森、煤ヶ谷水源林、ヤビツの森

団体数 19団体

内 容 県所有の水源林の一定エリアについて、自主的に森林づくり活動を行う団体に対し支援を行った。

イ 成長の森事業

赤ちゃんが誕生した家族から苗木の寄付をいただき、県と財団が連携して森林づくりに取り組み、現地植樹会の開催等、子供の健やかな成長と苗木の成長を実感できる機会を提供し、かながわの森林への理解増進を図った。

参加者 218家族 274名 植樹会場 県立21世紀の森（南足柄市内山）

植樹会開催日 平成28年3月12日（土） 396名（うち子供165名）

ウ やどりき水源林案内人事業

広く県民に「水源の森林づくり」に関する理解を深めてもらうため、「水源かん養機能の高い見本林」として整備している「やどりき水源林」に毎週土曜日と日曜日（12月から2月を除く）に「森の案内人」を配置し、水源の森林づくりの解説や豊かな森林の案内を行った。

配置場所 やどりき水源林（松田町寄）

配置人員 222人

エ インターネットによる情報提供

最新の森林・林業の状況や森林づくりボランティア活動など多様な情報をインターネッ

トを利用して、広く県民・団体などへ提供した。

オ 機関誌等の作成

森林に対する理解を深め、森林づくりへの参加を促すため、県民参加の森林づくり活動日程表や機関誌「ミドリ」を作成し、県民、関係団体等に配布した。

(ア) 森林づくり活動日程表

森林づくりボランティア活動の年間計画表「森林づくり活動日程表」を作成し、配布した。

森林づくり活動日程表

規 格 A2版、4色両面刷

枚 数 20,000枚

(イ) 機関誌「ミドリ」

財団の機関誌「ミドリ」に森林に関する情報、森林の学習や体験に係るイベントの案内などを掲載した。(4P/16P)

(4) かながわトラストみどり財団県民運動推進事業

県民運動実施に係る事務費等や県民参加の森林づくりを計画的・着実に推進するため、森林の機能や大切さ等に関する普及啓発活動やボランティア活動の企画及び関係機関との連絡調整等を行った。

5 緑の募金事業

(1) 緑の募金活動

ア 募金活動

学校、職場、企業、団体等において緑の募金運動を展開し、次のとおり募金収入を得た。

緑の羽根募金	26,695,088 円
緑化グッズ募金	5,895,600 円
計	32,590,688 円

(募金実績 平成27年4月1日～平成28年3月31日)

イ 普及啓発

普及啓発用として、ポスター・リーフレットの購入及び募金箱・緑の羽根・のぼり等の資材の購入や緑の募金(グッズ募金)用の物品の購入を行った。また、広報活動として、緑の募金強化期間(4月15日～5月14日)において神奈川県合同庁舎5か所での懸垂幕の設置や、朝日新聞への掲載を行い、緑の募金活動の周知を図った。

(2) 地域緑化の推進

ア 学園緑化推進事業

緑の募金協力校が実施する小規模な環境緑化(84校)に対し支援した。

イ 指定校緑化事業

緑の募金協力校の中から、神奈川県教育委員会及び神奈川県私学振興課の推薦を得て、学校環境緑化に積極的に取り組む18校を指定し、学校緑化を実施した。

(ア) 公立学校の部(15校)

小学校 川崎市立南生田小学校ほか10校

中学校 川崎市立柿生中学校ほか1校

高等学校 県立相模原高等学校ほか1校

(イ) 私立学校の部(3校)

聖ステパノ学園小学校ほか2校

ウ ふれあい緑化事業

地域住民等が自主的に行う植樹活動への支援及び県民への苗木配布を実施するとともに「緑の募金」及び「かながわのナショナル・トラスト運動」の普及を図った。

- (ア) 植 栽 川崎市江川ふれあい公園ほか7箇所 585本
- (イ) 苗木配布 三浦市初声市民センターほか4箇所 661本
- (ウ) 資材購入 横須賀市ほか1団体 竹挽きのこぎりほか
- (エ) 森林整備 小田原市
- (オ) 樹名板設置 綾瀬市

エ 森林づくり体験（保全活動）

県立21世紀の森、箱根の小塚山（トラスト緑地）において広く県民を募集し、森林整備活動を実施した。

- (ア) 実施日 平成27年6月6日（土）ほか1回
- (イ) 場 所 南足柄市内山ほか
- (ウ) 内 容 下刈りなど
- (エ) 参加者 70名

オ 丹沢の緑を育む集いへの参加

丹沢大山地域において県民参加による森林衰退域への植生回復事業、ボランティアとの協働による大山北尾根周辺での植栽や保全活動、水質調査等を実施している「丹沢の緑を育む集い実行委員会」（構成員：神奈川県、秦野市、清川村、かながわトラストみどり財団等）に支援した。

カ 国際森林デー事業

国際森林デーに合わせて森林イベントを実施した。

- (ア) 実施日 平成28年3月21日（月・振休）
- (イ) 場 所 川崎生田緑地

キ ジュニアフォレスター教室

次世代を担う子どもたちを対象に森林や川の探検、自然観察、キャンプや林業体験など様々なプログラムを実施し森林づくりの関心を高めた。

- (ア) 開催日 平成27年6月28日（日）ほか2回
- (イ) 場 所 県立四季の森公園ほか2カ所
- (ウ) 参加者 95名

(3) 緑の少年団の育成

森林での体験学習活動、地域での社会奉仕活動、レクリエーション活動等を行う緑の少年団の育成強化と活動支援を実施した。

ア 緑の少年団交流集会の開催

開催日：平成27年11月1日（日）
場 所：箱根町彫刻の森美術館ほか
参加者：計51名

イ 緑の少年団連絡調整会議

開催日：平成27年5月9日（土）
場 所：プロミティあつぎ
参加者：9名

(4) 緑化運動・育樹運動コンクールの開催

緑化運動・育樹運動コンクールを実施し、入賞者を表彰した。

- ア 表彰日 平成27年11月21日（日）
 イ 会場 県立地球市民かながわプラザホール
 ウ 入賞者等（上位入賞作品は（公社）国土緑化推進機構主催全国コンクールへ出品）
 (ア) ポスター原画コンクール（応募点数 530点、入賞点数 52点）

		小学校	中学校	高等学校	合計
応募点数		236	227	67	530
賞の選定数	最優秀賞	1	1	1	3
	金賞	5	3	1	9
	銀賞	5	4	1	10
	銅賞	7	6	1	14
	佳作	6	8	2	16
	合計	24	22	6	52

- (イ) 標語コンクール（応募点数 392点、入賞点数 40点）

		小学校	中学校	高等学校	一般	合計
応募点数		148	237	0	7	392
賞の選定数	最優秀賞	1	1	0	0	2
	金賞	3	4	0	1	8
	銀賞	3	5	0	0	8
	銅賞	4	6	0	0	10
	佳作	4	8	0	0	12
	合計	15	24	0	1	40

- エ 平成28年用国土緑化運動・育樹運動コンクール（主催（公社）国土緑化推進機構）

- (ア) ポスター原画コンクール

林野庁長官賞（準特選）2名、国土緑化推進機構理事長賞（入選）1名。

- (イ) 標語コンクール（入選）1名

- (5) いきいきみどり基金の創設

平成27年度高額な寄付があり、その遺志を受け継ぐため、いきいきみどり基金を創設し、継続的な事業を計画した。

- ア 竹林整備等支援事業

- イ 学校緑化活動優秀校の表彰事業

- (6) 会議の開催

- ア 第8回緑の募金運営協議会

開催日 平成27年5月26日（火）

場所 横浜西合同庁舎「6A会議室」

主な議案 平成26年度事業報告及び収支決算

- イ 第9回緑の募金運営協議会

開催日 平成28年2月24日（水）

場 所 波止場会館

主な議案 平成28年度緑の募金実施要領、遺贈寄付金の使途及び平成28年度事業計画、収支予算

(7) 協力等事業

ア（公社）国土緑化推進機構関係

（公社）国土緑化推進機構の要請により次の業務を実施した。

（ア）企業の森づくり体験活動事業

企業が行う森林づくり体験活動をサポートするため、具体的な企画、提案を行うとともに、活動フィールドの整備、情報発信、森林インストラクターの派遣などを行った。なお、体験活動の円滑な実施のため、土地所有者等との協定を締結している。

（イ）公募事業（緑の募金、緑と水のファンド）

国民参加の森林づくり運動を推進するため、森林整備や緑化活動の事業に取り組む団体に対し、公募事業を周知した。

（緑の募金公募） 採択：6団体

（緑と水の森林ファンド公募）採択：2団体

（ウ）学校環境緑化モデル事業

学校環境の緑化を通じて、青少年環境教育の推進を目的に学校敷地内の緑化や環境教育フィールドの整備を行う学校を支援した。

申請：4校、採択：2校（横浜市立汲沢中学校ほか1校）

（エ）緑の募金推進体制整備交付金

「緑の募金」の推進体制の整備、普及啓発・広報及び募金活動への取り組み強化するための支援を受けた。

イ（公社）ゴルフ緑化促進会関係

（公社）ゴルフ緑化促進会からの協力金により公共施設等の緑化を実施した。

応募：2団体、採択：2団体（秦野市ほか）

Ⅲ 理事会、評議員会の開催状況

定款及び関係規程に基づき財団の運営について審議するため、次のとおり会議を開催した。

1 理事会

（1）第7回定時理事会

開催日 平成27年6月8日（月）

場 所 横浜情報文化センター

主な議案 平成26年度事業報告及び収支決算等

（2）第8回定時理事会

開催日 平成28年3月15日（火）

場 所 横浜情報文化センター

主な議案 平成28年度事業計画及び収支予算等

2 評議員会

第4回定時評議会

開催日 平成27年6月23日（火）

場 所 横浜情報文化センター

主な議案 理事の解任並びに平成26年度収支決算

事業報告の附属明細書について

公益財団法人かながわトラストみどり財団定款第8条第1項第2号に規定する事業報告の内容を補足する重要な事項を記載すべき「事業報告の附属明細書」は、本事業報告に掲載しているため作成しておりません。

平成28年6月

公益財団法人かながわトラストみどり財団